



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



令和元年6月7日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦勞や悩みを話して、思いを共有する場となっています。

交流会に参加することで、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深め、お互いの励みとしていただければ、と思っています。

今年度に入り第1回目の交流会を開催したところ、2名の参加がありました。高次脳機能障害ピアサポートチーム七夕の代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族及び当事者が最近感じていること」をテーマに、日頃抱えている思いを自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会の中では、長年、高次脳機能障害を抱える家族とかかわっていても、対応の仕方がわからない部分があることや、支援している家族が高齢化している現状もあるため、経済的な部分などで今後の本人の生活が心配であり、利用できる社会資源をもっと充実させてほしいなどの話がありました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

○家族は本人達の一番近くにいる支援者です。一番近くにいるからこそ、一番対応に悩むことが多いと思います。この交流会で家族同士または支援者の方と情報交換し、工夫することで、少しでも家族の方の負担や不安な気持ちを和らげることにもあると感じます。地域の支援者の方には家族の思いや悩みを理解した上で支援していただきたいと思います。まずは家族自身の人生を大切に、日々を健康に過ごしていきましょう。



この障害の対応について悩んでいることをこの会とおして共有しながら、皆で頑張っていきたい。



この家族交流会に参加して、本人が自立して生活できるように考えないといけないと思った。

参加者の話を聞くことで、本人に対応する時の工夫など新たな発見があり、他の家族にも交流会の参加を勧めようと思った。

これまでの参加者の声

次回の交流会も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



令和元年9月6日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦勞や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することにより、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深めたり、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度第2回目の交流会を開催したところ、5名の参加がありました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチームセタの代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族交流会に参加された動機や、家族が最近感じていること」をテーマに、それぞれ自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会では、初めて参加された家族もいました。本人が障害をもつ前と後では言葉がすぐにでてこない、思い出すまでに時間がかかるなどの変化がみられ、急にできなくなった事実を受け入れるのは難しく、受容できるまでには時間がかかるとの話があったほか、家族が高齢となってきていて、今後本人が1人になっても行政での手続きなど行えるようなサポートが必要であるとの話がありました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

この家族交流会は日頃困っていることを家族同士で話し会える貴重な場所となっております。ここで気持ちを共有し分かり合える人が自分の地域にもいることを知ることで1人ではないのだと感じることができると思います。

本人への接し方など、一番難しさを感じているのは身近にいる家族です。家族自身の悩みや思いを支援者が理解して関わってほしいと思います。

まずは家族自身の人生を大事にして、日々健康に過ごしていきましょう。



家族は大変なことも多いが、この会に参加している人が笑顔であると自分も元気が出る。



この会には何度も参加しているが、毎回新しい考えを知ることができ参考になる。

新しい人にも参加してもらい普段感じていることを共有したい。

これまでの参加者の声

次回の交流会（令和元年12月6日）も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



令和元年12月6日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦勞や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することにより、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深めたり、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度第3回目の交流会を開催したところ、5名の参加がありました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチームセタの代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族が最近感じていること、困っていること」をテーマに、それぞれ自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会では、2名初参加の方もいました。参加者からは、本人は病院から退院して来た当初は、できることが少なかったが、時間をかけてできることも増えてきた。本人を24時間見続けることは、疲れる。疲れがでると本人の良いところが見えなくなる。家族自身を守ることも大切であり、利用できるサービスを使いながら、家族も休息し生活出来るとよいとの話がありました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

これから高次脳機能障害者を家族1人で支えていくことは難しい。様々な多様化した家族形態でのサポートも必要と感じる。高次脳機能障害者は、個人によって程度や特徴も異なり、対応の仕方も違う。家族も疲れが出てくるので悩みを共有し、癒やされる場が必要だと思えます。その1つとして、この家族交流会を利用してみて下さい。



同じ障害をもつ家族同士で話ができよかった。
心強かった。



この交流会で話しをすることで気持ち楽になり、これからのことを前向きに考えられそう。

次回も参加して、他の家族に困っていることを相談できればと思う。

これまでの参加者の声

次回の交流会（令和2年3月6日）も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）